

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

しが いちさい かい はつじぎょう による みりょく ある まちの けいせい  
市街地再開発事業による魅力あるまちの形成

ほっかいどう だてし ふらのし わっかないし  
北海道伊達市、富良野市、稚内市

平成26年3月(第4回変更)

(様式二) 社会資本総合整備計画 (地域住宅支援)

平成26年3月〇〇日

計画の名称	1 市街地再開発事業による魅力あるまちの形成																									
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	伊達市, 富良野市, 稚内市																							
計画の目標	市街地において効果的な土地利用とまちなか居住の推進や交流・商業施設等を整備することにより、中心市街地の再生及び安心して住み続けられるまちを目指す。																									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊達駅前地区における街なか居住人口147人(H22) から200人(H25) に増加</li> <li>富良野市 ①中心市街地の居住人口を2,741人(H22) から2,900人(H26) に増加 ②中心市街地の歩行者通行量を2,074人(H24) から3,700人(H26) に増加</li> <li>稚内駅周辺施設の年間入込客数を228,600人/年(H22) から427,100人/年(H23) に増加</li> </ul>																									
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(伊達市) 事業実施状況をもとに算出する。 (伊達市山下町に居住する市街地区第12区自治会の住民基本台帳登録人口) 平成22年3月末現在人口 147人</td> <td>147人</td> <td>-</td> <td>(H25末) 200人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(富良野市) ①住民基本台帳をもとに中心市街地における居住人口を調査する。  ②毎年9月もしくは10月の任意の平日に行っている、歩行者通行量調査をもとに算出する。</td> <td>2,741人</td> <td>-</td> <td>(H26末) 2,900人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(稚内市) 稚内駅周辺施設年間入込客数を測定する。 (J R駅舎、バスターミナル、商業店舗、公共施設、観光案内、映画館、コンビニ等の機能が入った複合交流施設の年間入込客数)</td> <td>228,600人/年</td> <td>-</td> <td>(H23末) 427,100人/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値	(伊達市) 事業実施状況をもとに算出する。 (伊達市山下町に居住する市街地区第12区自治会の住民基本台帳登録人口) 平成22年3月末現在人口 147人	147人	-	(H25末) 200人		(富良野市) ①住民基本台帳をもとに中心市街地における居住人口を調査する。  ②毎年9月もしくは10月の任意の平日に行っている、歩行者通行量調査をもとに算出する。	2,741人	-	(H26末) 2,900人		(稚内市) 稚内駅周辺施設年間入込客数を測定する。 (J R駅舎、バスターミナル、商業店舗、公共施設、観光案内、映画館、コンビニ等の機能が入った複合交流施設の年間入込客数)	228,600人/年	-	(H23末) 427,100人/年	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																					
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値																							
(伊達市) 事業実施状況をもとに算出する。 (伊達市山下町に居住する市街地区第12区自治会の住民基本台帳登録人口) 平成22年3月末現在人口 147人	147人	-	(H25末) 200人																							
(富良野市) ①住民基本台帳をもとに中心市街地における居住人口を調査する。  ②毎年9月もしくは10月の任意の平日に行っている、歩行者通行量調査をもとに算出する。	2,741人	-	(H26末) 2,900人																							
(稚内市) 稚内駅周辺施設年間入込客数を測定する。 (J R駅舎、バスターミナル、商業店舗、公共施設、観光案内、映画館、コンビニ等の機能が入った複合交流施設の年間入込客数)	228,600人/年	-	(H23末) 427,100人/年																							
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,216百万円	A	1,773百万円	B	0	C	443百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.9%																
交付対象事業																										
A 基幹事業																										
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容・規模等	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考												
								H22	H23	H24	H25	H26														
1-A-1	住宅	一般	伊達市	間接	個人	伊達駅前A B地区市街地再開発事業	共同住宅、店舗等 0.6ha						334													
1-A-2	住宅	一般	富良野市	間接	ふらのまちづくり株式会社	東4条街区地区第1種市街地再開発事業	商業、業務、公益施設、住宅等 1.7ha						1,010													
1-A-3	住宅	一般	稚内市	間接	稚内駅前地区市街地再開発組合	稚内駅前地区市街地再開発事業	商業店舗、公共施設、住宅等 0.4ha						423													
1-A-4	住宅	一般	稚内市	間接	稚内駅前地区市街地再開発組合	都市・地域再生緊急促進事業	商業店舗、公共施設、住宅等 0.4ha						6													
合計												1,773														
B 関連社会資本整備事業																										
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考										
										H22	H23	H24	H25	H26												
合計												0														
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考															
C 効果促進事業																										
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考										
										H22	H23	H24	H25	H26												
1-C-1	活動支援	一般	伊達市	間接	伊達駅前商店街振興組合	-	まちづくり協議会活動支援	市街地再開発事業と連携した街なか居住の推進と賑わい再生のための取り組みの検討と実践を行う。	伊達市						0	事業取止め										
1-C-2	施設整備	一般	稚内市	直接	-	-	地域交流センター整備事業	プレイセンター整備	稚内市						20											
1-C-3	施設整備	一般	稚内市	直接	-	-	モニュメント整備事業	J R線路跡モニュメント整備	稚内市						7											
1-C-4	施設整備	一般	富良野市	直接	-	-	認可保育所再編事業	新保育所設置に伴う保育床買取	富良野市						416											
合計												443														

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	まちづくり協議会の活動により地域の意見を反映し、地域と連携した効果的な市街地再開発事業の推進が図られ、伊達駅前地区における街なか居住の推進と賑わい再生が図られる。	
1-C-2	地域交流センターの整備により、市民、観光客の利便性を高め、複合交流施設の入込客数の増大を図る。	
1-C-3	J R 線路跡をシンボリックなモニュメント整備することにより、にぎわいの創出、観光客の増加を図る。	
1-C-4	既設の2保育所を統廃合し、まちなかに新たな認可保育所を設置することにより都市機能の集約化を図り、三世代交流による賑わいの再生に寄与する。	

(参考) 関連事業			
番号	事業名	事業主体	備考
1	公営住宅整備事業	伊達市	買い取り公営住宅の整備 40戸 シルバーハウジング等

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：市街地再開発事業による魅力あるまちの形成 \_\_\_\_\_ 都道府県名：北海道(伊達市、富良野市、稚内市)

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①関連する計画との整合性が確保されている。	○
②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新      イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保      エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進      カ 地方定住の推進      キ 住宅・建築物の安全・安心確保 ク 良好な住環境の整備      ケ 地域の特色ある街並みの整備 コ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携、民間活力の活用等が図られている。	○
⑤地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
③計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
④計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	○